

# 長田下地域 振興会だより 第5号

2007年(平成19年)10月7日発行

## 活動フラッシュ



「縄文の池」完成式に華を添えた「日之原太鼓」



市長もいっしょに「縄文の池」のテープカット(7月)



炎天下育苗箱へマツバギクを植える作業(8月)



ひとは祭の出店準備に励む振興会役員(9月)

## 活動状況(6月~9月)

- 6月 10日 役員会 11日 「振興会だより」第4号発行
- 7月 1日 河川美化活動 7日 役員会、ふれあい部会 10日 小委員会  
15日~ 縄文の池作業 17日 支所別懇談会 21日 おかげんさん  
22日 縄文の池完成式・記念行事(上の写真参考)
- 8月 14日 盆踊り(後援) 26日 マツバギク苗仕立て、同植栽場草刈り、  
縄文の池除草 29日 ふれあいの集い(2面記事参照)
- 9月 1日 ひとは祭(共催) 12日 マツバギク植栽場除草剤散布  
17日 役員会、広報委員会 29日 広報委員会  
他に、毎月最終月曜日に資源ゴミリサイクル活動実施

## 活動レポート ふれあいの集い

ふれあい部では、ふれあいサロン活動の一つとして、好齡者（好いお年を重ねられた人）の方々にくつろいで交流できる場を提供して楽しんでもらえるように、「ふれあいの集い」を実施しています。中長田集会所と下長田老人集会所を交互に会場にして、昨年の11月以降すでに5回実施しています。その活動についてレポートします。

### こんなことをしています

昨年度、安芸高田市社会福祉協議会より、ふれあいの集い開催の要請がありました。私たちの振興会ふれあい部の会合でも「気軽に集まることができ、お茶を飲んだり、お菓子を食べたり、半日でも1日でも、のんびり過ごせる場がほしいね」と話していた矢先だったので、早速実施することにしました。

11月27日に第1回目の会を中長田集会所で開いたところ、50名近い参加者がありました。ゲーム、体操、歌で大いに盛り上がり、お昼は寿司、汁、果物をいただき、参加者は大満足でした。第2回目は1月29日に下長田老人集会所で行いましたが、なんと70名近い参加者がありました。このときも前回同様の活動をし、昼食には、炊き込みご飯、豚汁、果物に舌鼓を打ちました。

昼食の準備と接待はふれあい部の女性役員と協力者でしましたが、負担が大きいということもあり、以後は昼食つきの会は数回おきにするにとしました。第3回目（3月22日）は午後から始め、コーヒー、紅茶、お菓子をいただき、従来の活動に、トランプ、オセロ、お手玉を加えて賑やかに楽しみました。

### あなたも参加をしてみませんか

今年度も、5月29日と8月29日に実施しました。上述第3回目と同様な活動に加えて、「ひとは」の中村看護師さんに来てもらって、血圧測定や健康相談をしていただいています。

近いうち第6回目の集いを実施します。日時が決定したら、ご連絡いたします。

ますます楽しい集いにしたいと思いますので、皆様のいっそうのご協力、ご参加をお願いいたします。また、忌憚のないご意見等、ふれあい部にお寄せください。

まだ参加されていない好齡者の方、ぜひ一度おいでください。楽しいですよ。



楽しく歌う参加者（5月29日の集いより）

## 特集 縄文の池 その後

広島県共同募金会の資金援助を受け、ひとは福祉会と長田下地域自治振興会との協働事業として、みんなの力を結集して取り組んだ「縄文の池づくり」も、梅雨の悪天候に災いされながらも何とか完成して、去る7月22日にめでたく完成式・記念行事を開催することができました。そして今、池は憩いの場としての機能を発揮しはじめています。

### 生き物にも人にもやさしく

地域のみなさまには、蒸し暑いさなか、縄文の池づくりおよび完成式・記念行事にご協力、ご参加いただきまして、本当にありがとうございました。

現在、メダカなどが泳ぐ池は、トンボも群れ飛び、ビオトープの風情を見せています。週末などには、憩いの場として立ち寄っている家族連れや若者グループも見かけられます。地味で、県道からも見落としそうな場所にある池ですが、行楽の秋の深まりとともにより賑うことが期待されます。

### 突然届いた表彰状

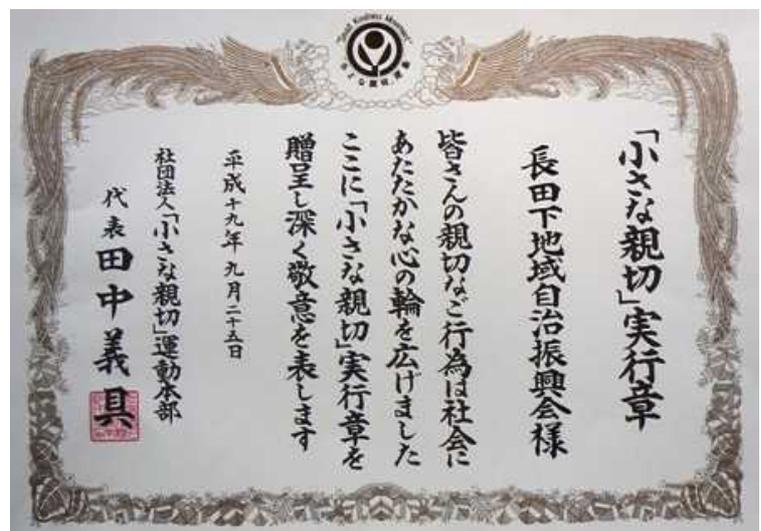
こんな折り、何の前触れもなく社団法人「小さな親切」運動本部より「小さな親切」実行章と銘打った表彰状が届きました。当初は、なぜ「小さな親切」運動本部に私たちの活動の情報が届いたのかわかりませんでした。どうも7月24日の中国新聞に掲載された記事を読んだ廿日市の方が、これぞ「小さな親切」の見本と評価され、推薦されたようです。

「小さな親切運動」は、昭和38年6月、当時東京大学の学長であった茅誠司さんを初代代表として発足した運動です。そして、「小さな親切」の積み重ねこそ私たちの社会を変えろという理念は、共感の輪を拡げ、急速に全国に拡大していきました。

今回の縄文の池づくりに対しては、長田下地域自治振興会、ひとは福祉会と並んで、土地所有者の故和泉信雄さんと、池づくり工事でリーダー的役割を果たされた新田登さんが表彰されました。

縄文の池づくりが、単に地域づくりという側面からだけでなく、住民の方々が自分たちのもっている力を、自分のできる方法で発揮され、一つのことを成し遂げようとしたことが評価の対象となったのだと思います。

私たちは、これからも、老若男女、一人ひとりを大切にしたい無理のない活動を、明るく楽しく進めていきたいものです。



地域住民みんなの努力でもらった表彰状

## 振興会掲示板

### ご協力ありがとうございます

資源ゴミリサイクル活動による収入

5月分 3,400円 6月分 4,040円 7月分 2,800円

8月分 4,920円。3月分(4月入金)からの累計 22,812円。

10月の回収日は、29日(月)です。倍旧のご協力をお願いします。

### みんな来て出て！ 楽しい大運動会 (行事予告)

とき 平成19年11月4日(日) 10時~15時(予定)

ところ 下長田老人集会所グランド・・・間違えないで！

新種目「(子ども)パン食い競走」「ボール送り」登場！

お昼は、うどんとむすびで元気もりもり！

豪華景品たくさん！ みんなで汗して楽しい一日に！

### コーナー ほのぼの

今回は、文化・芸術の秋二題です。

### 難関突破、入選お見事

似顔絵や油絵などの腕前で知る人ぞ知る、5区の児玉尊子さんが、このたび美術・工芸界で誉れと伝統のある「(第92回)二科展」のデザイン部に初出品で入選されました。競争率20倍以上の難関突破で、まさに快挙といえます。入選作品の全国巡回展は、広島では来年の2月に開催されます。

### 人情時代劇に戸島の人たちも涙

昨年9月に地元公演で「からくり峠」を好演した安芸長田明神一座が、去る9月16日に戸島(八東戸)の鳴石山神社例大祭のメインイベントに招かれ、同演目を熱演して大好評を博しました。あいにく当夜は雨でしたが、舞台も、「おひねり」の雨あられとなりました。連夜の練習、準備ご苦労さまでした。

### 編集後記(お願い)

広報委員会では、「コーナー ほのぼの」で紹介できる話題を求めています。地域内のほのぼのとした明るい話題、元気の出る話等ありましたら、広報委員へお知らせください。

発行 長田下地域自治振興会

担当：広報委員会、企画調整部